

気になる

気になる木の会

ご入会誠にありがとうございます とうございます。

〒815-0037

福岡市南区玉川町 7-21

TEL/FAX092-551-8825

気になる木の会事務局



自閉症

重度知的障害をともなう自閉症のMさんとともに7年障害をもつ方とともに毎日働くことをどう感じてきたか、素直に話してみよう。黒兵衛スタッフ意見発表。

自閉症はコミュニケーションをとるのが大変と聞いていましたがコミュニケーションをとるとも楽しく癒されます

昭和47年6月30日、僕は五体満足で京都の病院で元気に生まれました。三ヶ月検診一年検診と順調な発育でした。でも一歳が過ぎても言葉が出ません。目を合わせることも難しく、いつもじっと座ることができなくて飛び跳ねるように動いていました。遊びもみんなと一緒にできないで一人であることが多かったです。お父さんお母さんと福大病院に行きました。村田先生に自閉症と診断されました。それから僕のいろいろな教育が始まりました。夏にはキャンプにも参加しました。そのとき福岡は唯一士曜学級というサークルがありました。僕はそこに毎週通いました。夏にはキャンプにも参加しました。九重で四泊五日のスケジュールで専門の先生と学生のボランティアの指導がありました。僕は三歳から小学6年まで毎年参加しました。年齢的な経過は三歳から二年間通園施設に通いました。一年間は私立幼稚園に行きました。そのときは僕に一人の先生がついてくれました。僕のクラスには担任と副担任の先生がいました。みんなが僕のことで話し合いをしたり、考えて僕をいつも仲間に入れてくれました。この生活が6年間続きました。卒業をして中学校も校区の学級に通いました。給食とホームルームは普通学級で過ごしました。いろいろな行事や修学旅行もみんなと一緒にいきました。中学時代も情緒学級に通級しました。中学卒業後は自閉症施設に入所しました。高等部は作業や実習がありました。朝早くからパン屋さんにいきました。公園掃除もしました。ピルの清掃会社の実習もしました。卒業して通所作業所に行きました。自転車班では組み立てをしたり、部品を磨いたりしました。きつていやなことを作りしました。販売もしました。僕はたくさんの人と出会いいろいろな教育を受けました。きつていやなことでもたくさんありました。でもがんばったので、黒兵衛に就職できました。そして毎日パソコンで日記を書いているのでこの文章も打てました。みんなのおかげでたくさんできるようになりました。僕はありがとうございます、みんなに言いたいです。そして今からも黒兵衛でお仕事がんばります。

黒 光輝

言葉は話さないけど仕事のなかで周りの言葉を理解しようと努力している様子が伝わりみんなとともに着実に成長しています

VOL.1

木の会

身長は180センチ体重は100キロくらいの大きな堀君はすごい働き者です。犬と牛乳が苦手。芸能界は詳しいです。働きだして7年。元気はつらつです。

教え方が悪く最初はよく衝突しました。しかし、こちらがきちんと教えることで仕事をこなしてくれ、素晴らしい成長を遂げました。



仕事が習慣化し、納得できることには力を発揮してくれます。興奮したら感覚運動でジャンプ100回とんでもない仕事にとりかかります。

つくし学園の卒業生として一緒にお仕事できてうれしいです。

自閉症の方と接するのが初めてで、仕事を一緒にどうすればいいかわかりませんでした。しかし、店の流れをしっかりとつかんでいらして先輩としての姿を体で教えていただきました

雇用のきっかけ

自閉症の方にはつよいこだわりがあり、夢中に一生懸命な熱心が仕事でこだわりを守り、たとえ嵐がこようと変わらず動じず仕事に取り組んで欲しい手本となるに違いないと考えたことが雇用の始まりでした。ちょっと奇妙な行動、突然言い出すコマーシャルソング、毎週水曜日に買うテレビガイド、ルールから外れるときせるパニック、あまり聞きなれない彼からでてくる発語、お客様がいらっしゃる店の中で戸惑うのはスタッフはもちろんお客様も一緒です。その戸惑いは私たちの日常の行動や言葉と違うからであって彼にとっては全く普通です。戸惑いがとても大事と思うのです。戸惑うことで彼を知ります。彼の持つ私たちが知らなかった世界があつていい事を始めて知ります。一生懸命働く姿に心動かされ、微力ながらもなにか自分にできることがあるならばと、ちょっとの工夫やお手伝いで生活しづらいついて感じてるかもしれない社会に参加ができ、ともに働き汗流し同じ目標にがんばることは本当に素晴らしいことです。今回はさらに自閉症である彼に対する仕事の伝達の方法、目標設定、仕事を通して大きく変わったことを詳しくお伝えさせていただきます。

執行 泉

どうぞよろしくお 願い申し上げます。